

茅子連だより 第72号



子ども会育成会ってなあに？
交流や行事で素晴らしい体験を！

子ども会育成会って何？

茅野市立北部中学校3年生(令和元年度)の宮武さんが、総合的な学習の時間で「茅野市子ども会って何？」をテーマに子ども会について調べ、発表を行いました。

多くの方にこの内容をご覧いただき、より子ども会育成会を知っていただければと思います。発表の内容を掲載させていただきます。(以下宮武さんの発表チラシより抜粋)



1 はじめに

皆さんは「子ども会育成会」を知っていますか？ここでは茅野市子ども会育成会について知ってもらう。そして私たちの故郷である茅野市についてもっと知ってもらいたいという想いで詳しく紹介しています。

2 「茅野市子ども会育成会ってなに？」

茅野市には子どもたちの活動を見守ったり、支援したり、指導する、「単位子ども会育成会」という大人の組織があります。その支援として市内10地区に「地区子ども会育成会」があり、10地区が統合して「茅野市子ども会育成連絡協議会(以下茅子連と書きます。)」ができています。

茅子連では、たくましくやさしく夢を持ち生き抜く子どもたちを育成するため、子どもが主役の子ども会を育てる。ということで合言葉は「子どもが主役の子ども会」になりました。



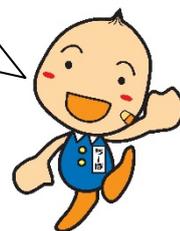
3 主に何をしているの？(活動内容)

①茅子連マスコットキャラクター「ちーぼ」

みなさんは「ちーぼ」というキャラクターを知っていますか？名前ぐらいは聞いたことがあるのではないのでしょうか。キャラクターの姿を知っている人もたくさんいると思います。茅子連では、「子どもが主役の子ども会」というものをいろんな人に知ってもらうために平成22年にマスコットキャラクターを作りました。そして平成24年4月にはちーぼが動き始めました。

ちーぼは茅野市内の、子ども会行事、保育園、こども館、他にもいろいろな行事に積極的に参加しています。みなさんもこれから、ちーぼに会う機会があるかもしれません。

ぼくが
ちーぼ
です！



②茅野市リーダーズクラブ(CLC)

茅野市リーダーズクラブ(CLC)とは、「子どもが主役の子ども会」の実践集団・茅野市の子どもリーダーとして結成されました。

CLCの高校生はウォークラリー、レクリエーションなどの企画・運営を行っています。すごく楽しそうです。そして、多くの学校からいろんな子が参加するので、たくさんの友達がつくれそうですね



他にも茅野市子ども会育成会はいろんな活動をしています。それは茅野市を子どもの声でいっぱいにするためだと思います。「忙しい時期だからそれどころじゃない」と考える人も多いと思います。ですが、ぜひ一度息抜き程度で地区の行事に参加してみたらどうでしょうか。茅野市子ども会について紹介しているこの紙を見て、少しでも多くのひとが興味を持っていただけたらうれしいです。ここまで見ていただき、ありがとうございました。

茅野市をみんなの声と
笑顔でいっぱいによ
う！

子どもたちのために子ども会育成会は何ができるか

全国子ども会連合会のねらい

子どもは、遊び仲間を求めており、遊びを通じて社会の一員として必要な知識、技能、および態度を学んでいます。

このような子どもの遊びの特徴をとらえ、健全な仲間づくりをすすめる、心身の成長発達に大切な活動を促進助長するのが子ども会です。このような活動は、学校や家庭における教育とともに、欠くことのできない重要な教育的活動であることを再認識しましょう。

今日の子どもは、21世紀に生きる……。子どもを豊かな社会の担い手にふさわしい人間として育てるために、子ども会活動をひらく進めましょう。

(引用：公益社団法人 全国子ども会連合会ホームページ)



体験機会の充実

子どもたちが地域行事を体験することは、子ども自身が地域を知ることにとどまらず、伝統行事の伝承と継続、地域の大人や年齢を超えた人間関係を育む場、地域への愛着をもつきっかけ等、様々な意味をもちます。子どもが減少する中で、地域行事の縮小や子どもの参加も少なくなっています。行事開催時に子どもの参加を促すだけでなく、対象地域や対象範囲の拡大等、子どもの関わり方の工夫が必要です。子どもの視点や声を活かした行事とすることで、子どもの行事参加後の達成感、大人に認められる充実感を得られるような地域行事の開催が望まれます。

(引用：第3次茅野市こども・家庭応援計画(どんぐりプラン))

様々な社会環境の変化のなか、子どもたちがリアルな体験をする機会は減少しています。子ども会育成会では、子どもたちのために様々な体験機会を充実させていけたらいいですね。下記の3つの内容は、モデル事業として支援される事業になるので、実施に向けご検討ください。

- 1 子どもたちの主体性及び創造性が発揮できる事業
- 2 地域の文化活動及び学習活動に関する事業
- 3 自然体験若しくは生活体験の実施又はスポーツ・レクリエーション活動に関する事業

国立青少年教育振興機構が平成28年度に小学4年生～小学6年生、中学2年生、高校2年生を対象として実施した意識調査では、「海や川で泳いだことがある」「野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと」「トンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」などの自然体験が豊富なほど、自律性、積極性、協調性が高い傾向がみられます。

子ども会育成会でも様々な体験機会を設けられたらいいですね！

詳しい意識調査の結果は、下記からご覧ください。

国立青少年教育振興機構ホームページ 青少年の体験活動等に関する意識調査(平成28年度調査)

http://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/130/

QRコードはこちら→



ゆるキャラグランプリ 2019に茅野市子ども会育成連絡協議会からマスコットキャラクターの「ちーぼ」がエントリーして、多くの方に応援をしていただきました。結果、ちーぼは、ご当地ランキング58位(427体エントリー中)で過去最高順位となりました。

ちーぼは、子ども会育成会行事、保育園行事、こども館行事など様々なイベントに年間約60回参加させていただいています。ただ、ちーぼは、6歳なので1人では参加できません。サポーターの皆さんにご協力をいただきながら、わんぱくに活動をしています。

今回のゆるキャラグランプリへは、サポーターの皆さん、CLCの高校生メンバーと参加しました。



ゆるキャラグランプリの様子



こんにちは。茅野市子ども会育成連絡協議会のマスコットキャラクター「ちーぼ」です。ちーぼは、7月26日にハケ岳山麓で生まれました。ずっと6歳の男の子です。トレードマークは「わんぱくの証」のばんそうこうと、ふるさとのハケ岳をイメージしたトンガリ頭だよ。

合言葉は、「子どもが主役の子ども会」。世界中の子ども達と友達になるのが夢なんだ！みんなが集まる所にちーぼも呼んでね！もっともっとみんなと仲良くなりたいです。

ゆるキャラグランプリでは大勢の皆さんに応援をいただき、ありがとうございました。

茅子連会長のあいさつ

青虫は春にたくさん葉を食べるのだ！

ハケ岳山麓の長い冬もようやく終わり、暖かな春がやってきました。この「茅子連だより」を手にして今、皆さんはどのように過ごしていますか？

もし、まだ新型コロナウイルスの影響で家の中にいることが多いのなら、ゲームのコントローラーを少しの間横に置いて、この機会にいろいろな本をたくさん読んでみてはどうですか？どんな本を選んだら良いかわからないときは、こども館のメイトさんや図書館の司書さんに相談してみるのも良いですね。

思いっきり「外遊び」ができる本当の春が来るまで、大人と話したり、本でたくさん知識を付けて頭脳と心を磨き、お腹をいっぱいにおさませよう。

茅子連会長 大作 公明

お知らせ：「茅子連だより」の内容、または「子ども会育成会」について皆さんの意見をお寄せください。また、各地区・単位育成会での活動等で茅子連だよりに掲載・取材を希望する題材がありましたら、ご連絡をお願いします。

連絡先：茅野市役所 こども部こども課こども係 茅子連広報部事務局

〒391-8501 茅野市塚原二丁目6番1号

TEL: 0266-72-2101 内線612

FAX: 0266-73-9843

E-mail: kodomoka@city.chino.lg.jp

市ホームページ(子育て・子育て応援サイト) : <https://www.city.chino.lg.jp/site/kids>